



SKK
SUPERIOR
COTINGS

MICRON COLOUR CLEAR

ミクロンカラークリヤー

透明仕上塗材

ミクロンカラークリヤーは、特殊顔料の使用により、光の散乱を調整します。
また、コンクリート下地と強固に密着し、上塗りの吸い込みを抑える被膜を形成します。



特長

コンクリート打ち放しの濡れ色を防ぐ

■ 用途

コンクリート打ち放し面 濡れ色防止工法用中塗り

■ 荷姿

★ミクロンカラークリヤー 16.5kgセット(主剤:15kg石油缶、硬化剤:1.5kg缶)、5.5kgセット
(標準塗坪:110~137㎡/16.5kgセット、36~45㎡/5.5kgセット)

★ウレタンシンナー 16L石油缶

上記の標準塗坪は、一般的なものであり下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。
ご了承ください。

《危険情報と安全対策》

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。

特に、★印の付いている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受けます。
詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

《施工後の注意》

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■ 標準施工仕様

(23℃)

材料名	調合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
				工程内	工程間	最終養生	
ミクロンカラークリヤー 主剤	100	0.12~0.15	1	—	4以上 7日以内	—	エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
ミクロンカラークリヤー 硬化剤	10						
ウレタンシンナー	20~40	—					

ミクロンカラークリヤーは、一度に厚塗りせず、塗料の吸い込み具合を確認しながら塗り重ねを行い、膜厚が均一になるように塗付してください。

ミクロンカラークリヤー施工後、補修が必要な場合はミクロンカラークリヤー補修剤で補修塗りを行ってください。

※詳しくは「コンクリート打放し保護工法」のカタログを参照頂くか、最寄りの各営業所にお問い合わせください。

施工上の注意点

事前に下地補修がなされている場合、ミクロンカラークリヤー施工後、吸込み差を生じ、色違いが発生することがあります。

シーリング材などの吸い込みのない下地へは施工できません。養生して施工を行ってください。

かびや藻が付着している場合は、SKK カビ除去剤 #5 (塩素系) にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。

材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。

所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により、増減します。

塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。

低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。

陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行なってください。

強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5 以下、湿度 85% 以上での施工は原則的に避けてください。気温 5 以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を 5 以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。

性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

性能試験成績表

試験項目	結果	試験方法
乾燥時間	3 時間以内	JIS K 5600-1-1 の 4.3.4a 常温乾燥に準拠 評価：硬化乾燥
表面硬度	2H	JIS K 5600-5-4 引っかき硬度（鉛筆法）に準拠
付着性	100/100	JIS K 5600-5-6 付着性（カスケード法）に準拠
耐水性	合格	JIS K 5600-6-1 の 7 方法 1（浸せき法）手順 A に準拠 水に 7 日間浸せき。
耐アルカリ性	合格	JIS K 5600-6-1 の 7 方法 1（浸せき法）手順 A に準拠 水酸化カルシウム飽和水溶液に 7 日間浸せき。
耐塩水性	合格	JIS K 5600-6-1 の 7 方法 1（浸せき法）手順 A に準拠 2% 塩化ナトリウム水溶液に 14 日間浸せき。
上塗り適合性	合格	JIS K 5600-3-4 製品と被塗装面との適合性に準拠
透水性	0.03ml	JIS A 6909 7.13 透水試験 B 法に準拠 24 時間静置後の 2 \times 2 \times 2 ϕ 内の水頭の高さより算出。